

第4章 秋田の目指す将来の姿

第4章 秋田の目指す将来の姿

1 おおむね10年後の姿

これまで述べた「時代の潮流と秋田の可能性」を踏まえ、おおむね10年後の「秋田の目指す将来の姿」を描くとき、秋田の豊かな自然の中で、古くからの歴史や伝統を守りながら、学力が高く心身ともに健やかな子どもたち、伝統産業や先端技術産業に従事し力を発揮している職人や技術者、大地を耕し自然の恵みに感謝する農業者、仕事や趣味、地域貢献に元気に取り組む高齢者など、秋田に住む全ての人々が、自然と調和しながら、豊かにゆったりと暮らしている姿が思い浮かびます。

秋田の目指す将来の姿は、こうした「高質な田舎」をイメージしながら、「日本に貢献する秋田、自立する秋田」が名実ともに実現している姿であります。

(1) 「資源大国」秋田の成長

①産業・エネルギー

**県内企業全体の競争力が強化されており、県外への売り込みが活発化しています。
「環境先進県秋田」が確立されており、新エネルギー関連産業や環境・リサイクル産業が成長しています。**

- 歴史と伝統に根ざした地域産業が、秋田の豊富な地域資源を活用して、製品の生産性や付加価値を向上させています。

また、多くの県内企業が、輸送機関連産業や情報関連産業等の成長分野や食品産業など、新たな分野に参入しており、県内企業全体の技術力や競争力が向上し、県内外への売り込みが活発となっています。

- 秋田港や能代港沖合等の洋上風力発電など、新エネルギーの導入が更に進み、多くの県内企業が新エネルギー関連産業への参入を果たしています。

また、県民に身近な分野においても、地中熱等を利用した周年農業や市街地を運行するEVバス等が県内各地に広がっています。

②農林水産業

農林水産業の6次産業化が進むとともに、トップブランド産地が確立し、付加価値や生産性が向上しています。

- 集落営農組織の多くが法人となっているほか、若者を中心とした県内外からの新規就農者が数多く活躍し、県内農業を牽引しています。

- 「おいしい・売れる米」、野菜や畜産物、魚介類、果樹、花きなど、県産品全体の生産額が増加するとともにブランド化が進み、国内外で高い人気を集めているほか、生産、加工、販売の流れが観光と連携して確立され、農林水産物の6次産業化と併せて、県内加工食品の売上げが大幅に伸びています。

- 原木の低コスト生産や木材加工企業等の施設整備が進み、大型の木造建築物や木造住宅が増えているほか、木質バイオマスボイラーやペレットストーブが普及しているなど、県産材の活用が多方面で進んでいます。

③観光

観光が新しい産業として確立するとともに、交流人口の拡大により、観光地等のにぎわいが生まれ、県内消費が増加しています。

- お客様のニーズを的確に捉え、多くの人を魅了する観光地づくりが県内各地で進むとともに、旅館・ホテル、飲食店、各種の物販店等で売り上げが増加しているなど、観光関連産業が本県を支える主要産業に育っています。
- 観光資源の魅力向上や人々の興味を引き付ける話題づくりなどにより、ソーシャルメディアやテレビ番組、雑誌、口コミ等の様々な媒体に秋田に関する情報が発信され、本県のイメージが多くの人に受け入れられており、共感を持った人々が「秋田ファン」として増加しています。
- 海外への効果的なプロモーションや「2020年東京オリンピック・パラリンピック」開催の機会を活用した取組等により、外国人観光客のリピーター化が図られるなど、国内外の交流が活発となっています。

④文化・スポーツ

秋田の文化力が向上するとともに、スポーツが活発に行われ、そのにぎわいが、交流人口の拡大につながっています。

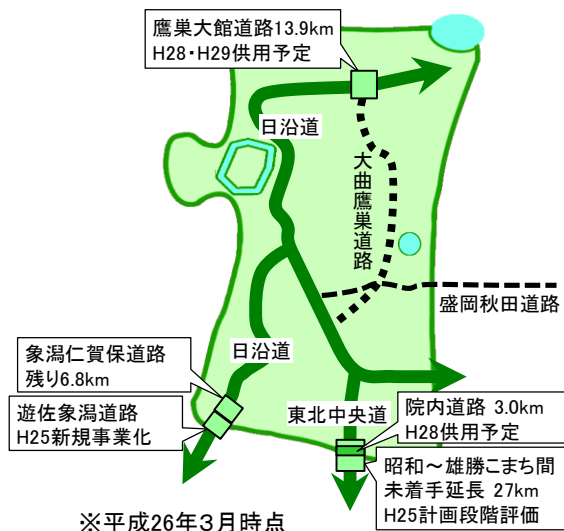
- 秋田ならではの貴重な文化財や伝統的工芸品・芸術作品等が、多数保存・伝承されているとともに、多様な創作活動や伝統芸能の発表・公演が活発に行われ、秋田の文化力が高まっており、文化による交流人口も増えています。
- 県民の誰もが気軽にスポーツ活動ができる環境の整備が進み、スポーツを通じて、健康で生きがいのある生活が営まれているほか、東京オリンピックに出場する選手を輩出するなど、多くの優れたスポーツ人材が育成されています。
- 秋田を本拠地とする地域密着型プロスポーツの実力と人気が定着し、ファンが拡大しているほか、全国規模・国際規模のスポーツ大会や合宿が県内各地で行われ、県内外から多くの観客や観光客が訪れるなど、地域のにぎわいがあふれています。

(2) 秋田の飛躍に向けた基盤づくり

交流ネットワークづくりが進み、県内外の交流人口が増加しています。

- 高速道路ネットワークの整備や環日本海交流の拠点としての港湾整備が進んでいるほか、秋田内陸縦貫鉄道、由利高原鉄道、生活バス路線等の地域交通が確保され、県内外の交流人口が増えています。

今後整備が見込まれる主な交通基盤



(3) 秋田の未来を担う人材の育成

次代を担う、多くの優秀な子どもたちが育っています。

- 少人数学習が、小学校、中学校の全学年で行われており、子どもたちが生き生きと授業に参加し、確かな学力を身に付けています。
また、全国学力・学習状況調査において、秋田の子どもたちは全国トップクラスの学力を維持しているほか、英語力“日本一”が実現し、多くの子どもたちが世界の人々と英語でコミュニケーションができるようになっていきます。
- 国際教養大学や秋田県立大学等では、各々の強みや特色を生かした優れた教育が行われ、グローバル人材や地域の発展に貢献できる人材が多教育成されているほか、各大学と企業・自治体等との連携・協働による取組が活発に行われ、地域の活性化が図られています。

(4) 誰もが安心して暮らせる地域づくり

①健康・医療・福祉

**長寿で元気な高齢者が、県内各地で、生き生きと活躍しています。
充実した医療・介護・福祉サービスが全県域で提供されています。**

- 県内各地で、長生きで元気な高齢者が増えており、これまでの豊富な経験や知恵を生かして、地域社会で活躍している姿が至るところで見受けられます。
- 地域の実情にあった医療・介護・福祉のネットワークが各地で形成され、高齢者等が地域で生活を送る上で必要な各種サービスが切れ目なく受けられるようになっていきます。

②人口減少対策（人口・協働）

美しい自然の中で、豊かにゆったりと暮らす魅力あふれる秋田に、県外からの移住・定住や若者の定着が進むほか、合計特殊出生率が上向くなど、人口減少傾向に歯止めがかかり、再び、県内各地域に活気があふれています。

- Aターン就職者やファミリー世代の移住者等が増え、県内各地に活気があふれているほか、高校生の県内就職率がアップし、多くの若者でにぎわいを見せています。
- 医療費助成や乳幼児の保育料助成など、全国トップクラスの支援によって、安心して子どもを産み育てる家庭が増えています。
- 人口減少社会に対応し、住民が主体的に地域課題の解決や地域の活性化に取り組む体制が整っています。
- 県と市町村が一体となって、地域課題に取り組む新たな行政システムが確立されており、人口減少下にあっても、地域における住民サービスが維持されています。

(5) 快適な生活環境の整備

①県土の保全・防災力強化

災害に強い県土がつけられているとともに、地域の防災力が高まっており、県民の生命と財産が守られています。

- 河川の改修や海岸整備、土砂災害対策が進められ、災害に強い県土がつけられており、地

震や津波、水害、土砂災害等から県民の生命と財産が守られています。

- 県や市町村において、災害救助用の備蓄物資の整備や災害時の情報伝達機能が充実強化されており、災害時における対応能力が向上しています。

②環境保全・自然保護の推進

「豊かな水と緑あふれる秋田」がしっかりと引き継がれています。

- 家庭や事業所において、太陽光発電システムを導入したほか、照明器具や空調・断熱等の改修など、省エネに関する取組が広く普及しており、県民総参加による地球温暖化防止対策が進んでいます。
- 多様な生物が生息する森林や里山、水辺環境など、秋田の豊かな自然が育まれているほか、県民、NPO、企業等の様々な主体により、潤い豊かな景観づくりや中山間地域の農地が保全され、「水と緑豊かな秋田」づくりが進んでいます。

③男女共同参画社会の構築

男女が共に性別にとらわれず多様な分野で活躍しています。

- 多くの女性が、自らの個性と能力を様々な分野で発揮しており、経済・地域社会において活躍する場が広がっています。
- 多くの男性が、家庭生活や地域社会に積極的に参画しており、男女が共に充実した暮らしを送るようになっていきます。

④安全・安心な生活環境の確保

事件や事故の少ない日本一安全な地域となっています。

- 自主防犯や交通安全の意識が県民一人ひとりに定着しているほか、道路の案内表示や冬期の除排雪が充実し、今まで以上に犯罪や交通事故が少ない、日本一安全で安心な秋田となっています。

⑤ICTの活用・科学技術の振興

ICTや科学技術が発達し、県民生活の利便性が大きく向上しています。

- 社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の導入に伴い、県民一人ひとりへのICカードの普及が進むなど、ICTや科学技術を活用した行政サービスや民間サービスが提供されています。
- 県内企業と大学・公設試験研究機関の交流が活発に行われ、付加価値の高い魅力的な製品が次々と生み出されることにより、地域経済が活性化しています。
また、安全な食品や良好な環境が確保された中で、県民は健康で生き生きとした生活を送っています。

2 3つの重要な視点

「秋田の目指す将来の姿」を実現するためには、時代の潮流や社会経済情勢の変化等を踏まえながら、中長期的な視点に立って、しっかりとした産業経済基盤を構築することが大切であり、県際収支を重要な指標として、その赤字を縮小していく必要があります。

また、人口減少社会にあっても、地域で暮らす人々が、安全で安心して日々の生活を送ることが出来るよう、医療、介護、福祉の充実はもとより、様々な地域課題にきめ細かく対応していくことが求められており、こうした基本問題の解決を図り、「日本に貢献する秋田、自立する秋田」を実現するためには、次の3つの視点が重要となります。

(1) 付加価値と生産性の向上による県外への売り込みの強化

これまで蓄積した技術や人材のほか、自然エネルギーや食料、水、木材、観光、文化資源など、秋田に存在する豊富な資源を活用し、様々な県内製品、商品及びサービスに、より高い付加価値を与え県外に積極的に売り込むことによって、いわゆる「外貨」を獲得します。

このため、中小企業の振興、新エネルギーや輸送機・医療機器関連産業など成長分野への参入促進、農林水産業の6次産業化に向けた取組のほか、著しい成長を遂げている東アジア・東南アジア地域等との経済交流の促進など、国内外での販路を拡大します。

また、交流を促進するための交通ネットワークづくりなど、本県の産業と暮らしを支えるインフラの整備にも積極的に取り組みます。

(2) 交流人口の拡大と県内流動の促進による県内消費の拡大

観光の振興と交通ネットワークの整備等により、国内外から本県に多くの人を呼び込むとともに、県内での活発な行き来を促進し、県内消費の拡大に結び付けていくことで、地域経済の活性化につなげていきます。

このため、地域の素材、埋もれている資源等の丁寧な掘り起こしを行いながら、マーケットに訴求力のある観光資源づくりを進めるとともに、観光客等のニーズを踏まえた情報発信の仕組みづくり、秋田の文化力の向上、スポーツの振興、交通ネットワークの充実等により県内外の活発な交流を生み出し、県内消費の拡大に結びつけていきます。

(3) 人と地域の安全・安心の確保

保健・医療・福祉サービスの充実とその連携強化を図るほか、人口減少や少子高齢化に伴い生じる様々な地域課題を克服することによって、県民誰もが住み慣れたところで安全・安心に暮らせる地域社会を創り上げていきます。

そのため、医療提供体制の構築や高齢者等を地域で支える体制づくり等を進め、元気な長寿社会の実現を目指します。

また、本県の将来を支える人材の育成を進めるほか、ふるさと教育を基盤としたキャリア教育の推進を図り、グローバル社会や地域で活躍できる人材の育成を進めます。

さらに、総合的な少子化対策の推進と併せて、人口減少社会においても住民サービスの維持向上を図るため、地域コミュニティづくりや県・市町村を通じた効率的な行政システムの構築を進めます。

3 4年間で創造する“3つの元気”

おおむね10年後の「秋田の目指す将来の姿」を見据えつつ、『プラン』の推進期間である4年間で、“3つの元気”を創造するため、重点的に施策を推進します。

また、施策ごとに掲げる代表的な目標数値と関連する指標を併せ、進捗状況及び成果について十分な精査・分析等を行いながら、“3つの元気”を創造します。

元気A ～「資源大国」の強みを生かし、成長する秋田～

地域資源を活用した新たな商品やサービスが生み出され、付加価値や生産性が向上することにより、中小企業の県外への売り込みが強化されるとともに、新エネルギー関連産業や環境・リサイクル産業等の振興が図られているほか、農林水産業の競争力や体質が強化され、「攻めの農林水産業」が展開されている秋田。

- 企業の経営基盤の強化と地域産業の振興、成長分野への新たな事業展開
- 「新エネルギー立県秋田」の創造と環境・リサイクル産業の拠点化
- “オール秋田”で取り組むブランド農業の拡大
- 付加価値と雇用を生み出す6次産業化の推進

など

元気B ～魅力づくりと基盤整備による「交流」盛んな秋田～

秋田の地域資源の掘り起こしと磨き上げにより、魅力あふれる観光地づくりが進むとともに、国民文化祭や大規模なスポーツ大会等のイベント開催や、多様な分野との連携が図られているほか、道路ネットワークなど、交通基盤の整備・充実により活発な交流が生み出され、県内消費が拡大している秋田。

- ビジネスとして継続・成長していく総合産業としての観光の推進
- 秋田の食の魅力の磨き上げと県外への販路拡大
- 県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進

など

元気C ～多様な「人材」を育み、誰もが「安心」して暮らす秋田～

ふるさと教育を基盤としたキャリア教育や英語教育の充実等により未来を担う人材を育成するほか、医療・介護・福祉の充実と連携強化、少子高齢化や人口減少社会への直接的な対応策の充実や新たな社会システムの構築等により、安全で安心な地域がつくられている秋田。

- 確かな学力の定着と豊かな心・健やかな体の育成や、未来を切り開き社会に貢献する人材の育成
- 元気で長生きできる健康づくりの推進、高齢者等を地域で支える体制づくり
- 県外からの移住・定住の促進、県民一丸となった少子化対策
- 地域資源等を生かした地域力向上、人口減少社会を踏まえた地域コミュニティの活性化

など

